

### 森川海のつながりを学習

#### 伊那・駒ヶ根・喬木の小学生20人

海はさまざまな形で日本人の暮らしを支え、心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれます。海なし県・信州も、さまざまな形で海とつながっています。海と日本プロジェクトin長野は、海との繋がりを学び、海を身近に感じ、活動するために活動しています。海を学ぶために、何が出来るか、自分で行動する姿勢を広げていくことも目的のひとつです。今年活動の柱として、小学生の学習プロジェクト「信州の森から海へ」天竜川調査隊を実施しました。内陸から海へ、川は水と共にさまざまなものを運んでいます。それが海に与える影響を学び、川の上流に住む自分たちが海のためにできることを考えます。

参加者は伊那市駒ヶ根市、喬木市の小学生20人。7月に駒ヶ根市で結団式を行いました。天竜川を学ぶために、天竜川上流河川事務所との協力のもと、水生生物調査を行いました。その結果、水質がとてきれいであることを示すドジョウやカワゲラなどを発見しました。

#### 海につながる川の水質は？

水生生物調査で天竜川の水質を知るために、天竜川上流河川事務所との協力のもと、水生生物調査を行いました。その結果、水質がとてきれいであることを示すドジョウやカワゲラなどを発見しました。

昔の天竜川は、人間の生活排水でひどく汚れていました。しかし流域や上流の人々の努力で水質は改善されています。それを維持すること、そしてもっと良くしていくこと



水生生物調査

#### 森は海の恋人

天竜川の支流、小渋川が流れる大鹿村で、大鹿森林事務所との協力のもと、森林の機能の学びました。腐葉土などに由来する森の栄養は、川を通じて下流へ流れ、豊かな生態系を育みます。漁業や養殖業の関係者が川の上流で植林活動をおこない、健全な森林の保全に取り組んでいる事例が紹介されました。

また、森の貯水機能（緑のダム）を学び、間伐材はしを作りました。

#### 山の土砂が海岸を作る！

松川町と中川村にまたがる小渋ダムで「土砂バイパストンネル」を見学しました。洪水時に発生する大量の土砂をダム湖に堆積させず、下



土砂バイパストンネル



森林の機能を学習



天竜川調査隊メンバー（静岡県・遠州灘海岸で）

#### 活動の全体像

長野県 諏訪湖  
駒ヶ根市 川の調査  
森の調査 小渋川上流  
静岡県 天竜川  
天竜川河口 海の調査

#### 遠州灘で学ぶ海の悩み

9月、天竜川の河口がある静岡県で、1泊2日の学習ツアーを行いました。

【砂の学習】浜松市と磐田市の間を流れる天竜川を訪れた子どもたち。「長野県で天竜川より広い」「流れがゆっくり」「大きな岩や石がない」など違いに気づいていました。岩や石は川を下るうちに砕けて、海に着くころには細かい砂になります。それらは河口に、砂州（さす）という土砂

流に流すためのトンネルです。土砂が下流に流れなければ最終的に海の砂浜がやせ細り、生態系への影響も懸念されます。天竜川ダム統括管理事務所は「土砂バイパストンネル」の効果を実証しています。この他、ダム本体の見学やダム湖クルーズを行いました。



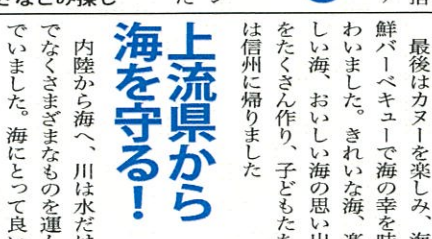
ウミガメを放流



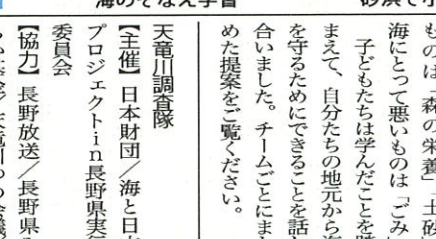
川や海の砂を観察



海のそなえを学ぶ



砂浜で小さなゴミ探し



カヌー体験

出づらきによって、すべての海の生き物たちが、命の危険にさらされています。学習会のもと、子どもたちは1人1匹ずつウミガメの赤ちゃんを海へ放流しました。ウミガメが成長し、再び遠州灘海岸に戻ってくるのは20、30年後。それまでに、今より美しい海の環境を作りたい。【砂浜のゴミ調査】砂浜の砂をふるいにかけて、小さなゴミを探りました。特にプラスチックと呼ばれる、小さな魚がエサと間違えて食べてしまおうとあります。その小さな魚を大きな魚が食べ、大きな魚を人間が食べることで、ゴミ問題は人間に返ってきます。砂浜の小さなプラスチックゴミを、全てきれいに回収することは不可能です。そうなる前に、ごみを出さない、捨てる、拾うことが重要です。

【ウミガメの放流】遠州灘海岸で動植物の保護調査活動をおこなうサンクチュアリエヌピオーの協力のもと、海の生き物について学びました。遠州灘海岸はウミガメの産卵地ですが、その環境は悪化しています。オフロード車の走行や、卵の違法盗掘、さらに海洋ゴミ問題も深刻です。ウミガメの好物はクラゲですが、海に浮かぶポリ袋をクラゲと間違えて食べ、死んでしまうケースもあります。砂浜にも多くのゴミが隠れています。

【砂浜のゴミ調査】砂浜の砂をふるいにかけて、小さなゴミを探りました。特にプラスチックと呼ばれる、小さな魚がエサと間違えて食べてしまおうとあります。その小さな魚を大きな魚が食べ、大きな魚を人間が食べることで、ゴミ問題は人間に返ってきます。砂浜の小さなプラスチックゴミを、全てきれいに回収することは不可能です。そうなる前に、ごみを出さない、捨てる、拾うことが重要です。

【海のそなえを学ぶ】磐田市竜洋B&G海洋センターで、海を安全に楽しむための学習を行いました。

【カヌー体験】カヌーを体験し、海を安全に楽しむための学習を行いました。

【海鮮バーベキュー】海鮮バーベキューを体験し、海を安全に楽しむための学習を行いました。

【上流県から海を守る！】内陸から海へ、川は水だけでなくさまざまなものを運んでいます。海にとって良いものは「森の栄養」「土砂」。海にとって悪いものは「ゴミ」。子どもたちは学んだことを踏まえて、自分たちの地元から海を守るためにできることを話し合いました。チームごとにまとめた提案を「観」ました。

天竜川調査隊  
主催 日本財団/海と日本プロジェクトin長野県実行委員会  
協力 長野放送/長野県みらい基金/天竜川ゆめ会議/全国川ごみネットワーク/大鹿森林事務所/サンクチュアリエヌピオー/磐田市竜洋B&G海洋センター  
【後援】長野県/伊那市/駒ヶ根市/駒ヶ根市教育委員会/喬木市/磐田市/天竜川上流河川事務所/浜松河川国道事務所/三峰川総合開発工事事務所/天竜川ダム統括管理事務所

#### 伊那から海を守るために

海の生き物がゴミで苦しんでいる事を  
全市民に知らせたい！  
その月の最後の土日に  
全市民でゴミひろいをしたい！

#### 駒ヶ根から海を守るために

駒ヶ根ピカピカ祭を  
年に一回やりたい  
海の生き物のために  
ゴミをひろて  
ポイントがもらえるようにしたい。

#### 天竜川調査隊の詳しい活動は公式サイトで記事をチェック!

海と日本 長野

#### テレビ番組「海につながる長野県」

毎週日曜 20:54~21:00 放送中

NBS 長野放送

海と日本プロジェクトは、海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。  
海を学ぼう！海をきれいにしよう！海を味わおう！海を体験しよう！海を表現しよう！の5つのアクションを、全国各地で推進しています。

#### 喬木から海を守るために

ゴミ拾いの日を  
作る  
ゴミ問題を  
村に伝える